

大松

至誠 剛健 協同

香美町立香住小学校 学校だより
(令和3年10月18日号) No. 28



香住小学校の授業風景【紙上授業参観⑩】

香住小学校の授業風景【紙上授業参観⑩】です。令和3年度も後半に入りました。児童も職員も頑張ります。

① かがやき学級オンライン交流会

10月5日(火)、かがやき学級の児童が佐津小学校、香住第一中学校の児童・生徒とオンラインで交流を深めました。お互いに大きな声をあげて盛り上がっていました。



② 2年生虫みつけ



10月5日(火)、2年生がしおかぜ香苑に出かけて“虫みつけ”をしました。秋のしおかぜ香苑にはバッタやトンボなど虫たちがいっぱい！小さな命の鼓動があちこちから聞こえてくるようでした。

③ 4年生福祉学習

10月7日(木)、香美町社会福祉協議会から講師をお招きして、4年生が福祉学習を行いました。今回は、アイマスク体験をさせていただき、目の不自由な方の気持ちを考えてお声かけすることの大切さについて学びました。



④ 音楽の授業に歌声が戻る



緊急事態宣言下では音楽の授業で歌を歌うことを自粛してきましたが、10月より香住小学校に歌声が戻ってきました。写真は5年生の児童の様子です。歌えることに対する喜びを表現する児童が多くて感動しました。

令和3年度後期児童会役員に19人立候補！

少しさかのぼりますが、9月16日（木）に令和3年度後期児童会役員選挙が行われ、それに先立って立会演説会が実施されました。今回の児童会選挙には、なんと19人もの児童が立候補し、香住小学校への熱い思いをそれぞれの演説の中に盛り込んでくれました。右の写真は、各候補者が放送室前で最後の原稿チェックをしている様子です。この時は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言下でしたので、テレビ放送による立会演説会となりましたが、どの児童も真剣に臨み、意義ある時間になったと思います。



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

前号（「大松」NO, 27）にひきつづき、国語と算数の学力調査の結果についてお知らせします。

【国語】全国平均と比較して少し努力が必要

ことばのきまりや漢字問題の正答率が高いです。特に、漢字問題については、全国平均を上回り、スキルタイムの取組などの効果が表れていると言えます。今後もスキルタイムを大切にしていきます。国語の各領域で分析すると、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」よりも「読むこと」の課題が大きいです。教科書を読むことはもちろんであるが、日頃の読書が大切になってきます。新聞を読むことも有効です。問題形式としては、記述式の問題に苦手意識が強いです。まずは短文でも良いので文を書く機会を多く持つ必要があります。しかしながら、「書くこと」の力をつけるためには、良文をたくさん読むことがまずは大切なことだと考えます。

【算数】全国平均と比較して努力が必要

算数の各領域では、「測定」「変化と関係」「データの活用」に比べ「数と計算」「図形」の正答率が低い傾向にあります。特に、「数と計算」に課題を感じます。基礎基本を大切に指導していく必要があります。また、個々の児童の様子に応じた同室複数指導や個別指導も継続して行っていきます。「8人に4Lのジュースを等しく分けます。1人分は何Lですか。求める式と答えを書きましょう」の問題で、「 $8 \div 4 = 2$ 」で1人分は2Lと回答してしまった児童が少なくありませんでした。この問題で割り算を用いることは理解しているのですが、状況設定を正しくイメージすること（問題文の正確な読み取り）ができなかったことも原因のひとつのようです。やはり、「読むこと」はどの教科の授業においても大切なことだと考えます。



※香住小学校では以上のような事柄（「大松」NO, 26、「大松」NO, 27、「大松」NO, 28）を踏まえた上で、授業づくりに励みます。ご家庭でも「読む」ということを少し意識していただければと思います。